

## 4. 技術経営支援

### 4.1 知的財産権の取得

#### 4.1.1 知的財産権総括

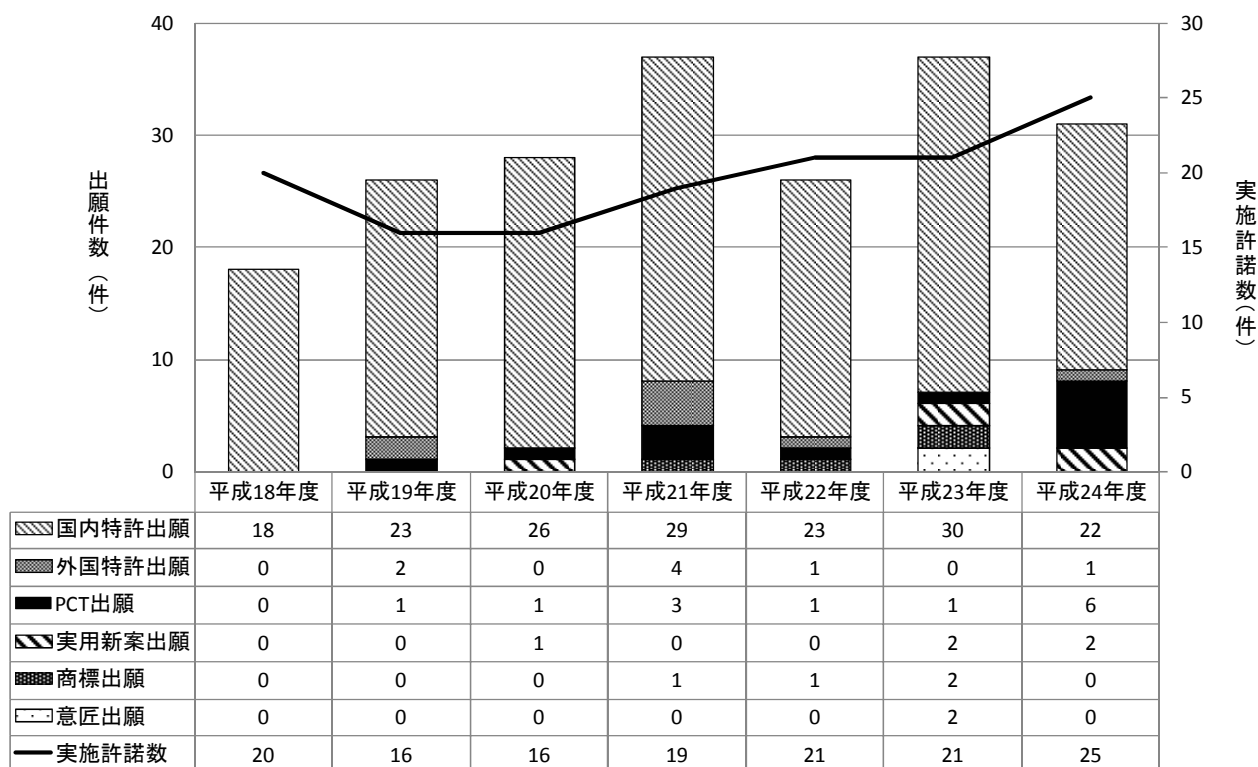
##### (1) 知的財産権保有件数

		特許(件)		実用新案(件)		意匠(件)	商標(件)	
		設定登録	出願中	設定登録	出願中	設定登録	設定登録	
国内※1	今年度分	23	22	0	2	0	1	
	累計	76	131	3	2	2	4	
国外	今年度分	1	1					
	累計	2	3					
PCT※2	今年度分							6
	累計							14

※1 国内優先権主張を利用した場合には、原出願は件数から削除しています。

※2 PCT 出願後、国内段階へ移行しているものについては PCT 出願と外国出願をそれぞれ計上しています。

##### (2) 出願案件数の推移（平成 18 年度～24 年度まで）



## 4.1.2 登録済み知的財産権

### (1) 国内登録特許

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
1	第 2775525 号	結晶化ガラスの製造方法	H10. 5. 1	鈴木蕃 他	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石または大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
2	第 3062813 号	べっ甲基材の再生製造方法	H12. 5. 12	横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊	従来廃棄していた製造工程中に発生するべっ甲端材を再生し、有効利用するようにしたもの
3	第 3082911 号	球状成型用凹凸金型盤による網目構造の球状繊維成型物及びその製造方法	H12. 6. 30	樋口明久	種々の繊維に低融点繊維を均等に混合し、球状に加熱加圧して得られた繊維成型物で、クッション性・微生物固着性・悪臭吸着性などに優れている
4	第 3122870 号	交流用LED点灯回路	H12. 10. 27	上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利	電源電圧および周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用 LED 点灯回路
5	第 3261676 号	電気ニッケルめっき浴	H13. 12. 21	土井正 水元和成 茅島正實 田中慎一	めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくてもよい、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴
6	第 3292239 号	鋳造用すず合金	H14. 3. 29	佐藤健二 他 1 名	創造性、転写製に優れ鋳造した製品の色調が銀色に近いものが得られる鋳造用すず合金を提供する
7	第 3326546 号	コンピュータシステムの故障検知方法	H14. 7. 12	坂巻佳壽美	コンピュータシステムの故障を自動的に検知し、システムの信頼性を向上させる方法
8	第 3354377 号	レーザ溶射法による高耐食性改質層の作製方法	H14. 9. 27	一色洋二 藤木栄	レーザ溶射法を利用した、鉄鋼材料表面の耐食性の改善
9	第 3360255 号	めっき排水中のほう素の除去方法	H14. 10. 18	東邦彦 大塚健治	めっき排水中に含まれるほう素を効率よく、かつ十分に除去することができる新たな処理方法
10	第 3406390 号	重水素の濃縮方法及び装置	H15. 3. 7	斎藤正明 他 3 名	原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置
11	第 3520505 号	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物からの液体燃料回収方法	H16. 2. 13	山本真 中澤敏	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分を生成しないで液体燃料を高収率で回収する方法
12	第 3559727 号	放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法	H16. 5. 28	斎藤正明	簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法
13	第 3590932 号	EMI プローブ	H16. 9. 3	大森学 山田万寿雄	電子機器から放射されるノイズ(放射電磁界)を3つの検出面を同軸上に互いに 60 度の角度で配置した EMI プローブを用いて三次元方向の感度特性で検出するため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索できる
14	第 3612659 号	フミン酸の改質による吸水性材料の製造方法	H16. 11. 5	山本真 中澤敏 他 2 名	草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、アクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させることを特徴とする吸水性材料の製造方法
15	第 3624394 号	電解用活性陰極の製造方法	H16. 12. 10	田中慎一 棚木敏幸 広瀬徳豊	水溶液の電気分解による生産過程での電力使用量の低減を可能とした電極の製法
16	第 3648527 号	プローブカードの製造方法	H17. 2. 25	加澤エリト 上野武司 他 1 名	プローブに相当する微細な溝を形成し、その溝を鋳型として無電解メッキなどの方法により導電性プローブを作る
17	第 3660941 号	分解性高分子化合物	H17. 4. 1	篠田勉 西脇徹 他 1 名	連鎖的に分解して再利用できるプラスチックおよびその分解方法に関するもの
18	第 3719847 号	摺動性材料及びその製造方法	H17. 9. 16	三尾淳 仁平宣弘	チタン表面層にイオン注入法で塩素を添加することにより、潤滑材を使用しなくても低摩擦指数かつ耐磨耗性に優れた新しい硬質材料およびその製造方法

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
19	第 3748304 号	重水素の濃縮度算出決定装置	H17.12.9	斎藤正明	天然水中のトリチウムの分析に不可欠な濃縮法で、従来の方法と比較して測定作業を簡易化したうえ、正確な重水素濃縮度を算出する方法および装置
20	第 3779290 号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	H18.3.10	木下稔夫 上野博志 瓦田研介 他 1 名	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体
21	第 3812783 号	超音波振動付加型摩擦試験機	H18.6.9	片岡征二 加藤光吉 基昭夫 中田高志 佐々木武三 他 1 名	一般的な汎用試験機に超音波振動装置を組み込み、摩擦低減に対する超音波振動付加の効果を簡便に試験できる摩擦試験機
22	第 3963859 号	電動自転車用電源供給装置	H19.5.22	三上和正 小林丈士	電動自転車の始動時にバッテリーからモータに流れる大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源である「電気二重層コンデンサ」から供給することによりバッテリーの長寿命化を図る
23	第 3968413 号	工作物に穴を形成する放電加工方法	H19.4.11	山崎実 森紀年 武井健三郎 国枝正典	直径数十マイクロンという微細な穴あけに関する技術で、穿孔する穴径より太い電極を用い、電極を＋、加工物を－にし、電極を回転させながら送りつつ放電加工を行うと、電極の外周部が消耗しながら微細な穴が形成できる
24	第 3970021 号	デジタル回路実験・実習遠隔教育方法	H19.6.15	森久直 坂巻佳壽美 他 4 名	デジタル回路に関する実験・実習を回路を通じて行えるようにした遠隔教育システム
25	第 3993784 号	多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの治具	H19.7.24	澤近洋史 樋田靖広 浜島義明 他 1 名	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ
26	第 3992536 号	ラドン等の放射性核種の濃度測定方法とこの方法に用いる装置	H19.7.24 (H19.8.3)	斎藤正明	遮光したチャンバー内にプラスチックシンチレータおよび光電子増倍管を対面配置し、チャンバー内に連続的に流入させた試料水または試料空気に含まれるラドンをシンチレータに吸収させるラドンの放射線エネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光し、その回数を増倍管で計数する
27	第 4046450 号	表面プラズモン共鳴センサ	H19.11.30	上野武司 加澤ユリト 佐々木智憲 他 1 名	光の波長または光の入射角度を変化させることにより生じる表面プラズモン共鳴現象を利用し、物質の濃度あるいは物質の識別に用いられる、コンパクトで良好な感度を有するセンサ
28	第 4086241 号	水素吸蔵合金粉末	H20.2.29	内田聡 他 3 名	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
29	第 4125671 号	ノイズ測定用多素子アンテナ	H20.5.16	寺井幸雄 天早隆志 清水康弘	屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための片手で持ち運びできる小型アンテナに関するもの
30	第 4126576 号	鋳造用アルミニウム合金	H20.5.23	佐藤健二 他 2 名	材料欠陥が少なく品質・強度が向上し、かつ塑性加工しても製品の割れが発生しにくくなり加工工数の低減化と製品歩留まりが向上する
31	第 4222515 号	ダイヤモンドの研磨方法と装置	H20.11.28	横澤毅 基昭夫 片岡征二 仁平宣弘	超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンドを研磨する方法
32	第 4226875 号	放電加工による素材の成形方法	H20.12.5	山崎実 鈴木岳美 森紀年 国枝正典	放電加工により一度開けた穴を利用して、直径数 $\mu\text{m}$ の細い電極や断面形状の複雑な電極を容易に作る事ができる
33	第 4233222 号	着色ガラスの製造方法	H20.12.19	鈴木蕃 大久保一宏 小山秀美 田中実 陸井史子	一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で 2～50% の三宅島火山灰を配合することにより、清澄剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、着色剤を使用することなく美しい青色に発色する高品質の着色ガラスが製造できる
34	第 4359537 号	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	H21.8.14	樋口明久 吉野学	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良に関するもの

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
35	第 4392719 号	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	H21. 10. 23	片岡征二 基昭夫 玉置賢次 他 3 名	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法
36	第 4394050 号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	H21. 10. 23	藤木栄 他 1 名	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐摩耗性を一層向上させた金属板に関する
37	第 4568142 号	放電加工による素材の成形方法	H22. 8. 13	山崎実 鈴木岳美 國枝正典	放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法に関する
38	第 4573174 号	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	H22. 8. 27	小山秀美 小林政行 他 1 名	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術
39	第 4599529 号	放射線照射判別方法および放射線照射判別システム	H22. 8. 11	後藤典子 山崎正夫 他 3 名	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法に関するもの
40	第 4680612 号	カーボンオニオンの製造方法	H23. 2. 10	基昭夫 片岡征二 後藤賢一 玉置賢次 他 8 名	容易な技術で、従来の方法に比べて簡便でかつ安易にカーボンオニオンを製造することができる実用的な方法を提供すること
41	第 4740439 号	塗装用ブラシ	H23. 5. 13	木下稔夫 他 2 名	ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘度塗料の塗布を可能にしたブラシ
42	第 4764973 号	CRC 値の算出装置	H23. 6. 24	坂巻佳壽美 乾剛 高山匡正 他 4 名	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現した
43	第 4776212 号	マルチ X 線の発生方法及びその装置	H23. 7. 8	鈴木隆司	1 種類以上の金属元素からなねフィルターを用いて、X 線発生装置から出る連続 X 線を単色 X 線または 2 本以上のマルチ X 線にする方法および装置に関する
44	第 4791746 号	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H23. 7. 29	田中実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
45	第 4828159 号	赤外線追尾装置	H23. 9. 22	大畑敏美	パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知し、信号発生方向に自動追尾する装置
46	第 4827657 号	排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析方法と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理装置と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理キット	H23. 9. 22	野々村誠 栗田恵子	排ガス中のハロゲン化合物と硫黄酸化物を分析するための前処理装置と前処理キットを提供することにより、排ガス中のこれらの成分を簡便、迅速、安価に測定することができる
47	第 4832785 号	表面改質された超高分子量ポリエチレン製成形品、およびその製造方法	H23. 9. 30	谷口昌平	人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチレンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐摩耗性の向上を目的としている
48	第 4847931 号	揮発性有機物除去装置及び揮発性有機物検出方法	H23. 10. 21	紋川亮 石東真典 加澤エリト	ポリマーが VOC を吸収することで溶解し、その物性値が変化することを利用した VOC センサー等を組み込んだ揮発性有機物の除去装置およびその検出方法
49	第 4851432 号	揮発性有機物回収処理装置及びこれを有する揮発性有機物回収処理システム	H23. 10. 28	紋川亮	多孔質吸着剤が持つ VOC 吸着処理能力の高さと、揮発性有機物吸収材の持つ高い VOC 吸収能力を複合するという技術を用いた有用な揮発性有機物回収処理装置

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
50	第 4873617 号	低摩擦特性と耐剥離性を有する硬質膜の被覆部材	H23.12.2	基昭夫 後藤賢一 他 3 名	研磨した第一硬質膜の表面に DLC 膜をコーティングして第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜被覆工具および摺動材の製造方法
51	第 4920007 号	ガラス発泡体の製造方法、ガラス発泡体及びガラス発泡体の再生方法	H24.2.10	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収し、リン酸肥料として再資源化するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつリン酸の再解離が容易なガラス発泡体の製造方法に関するものである
52	第 4940464 号	ネットワーク機器試験装置	H24.3.9	坂巻佳壽美 乾剛 他 4 名	通信メディアチップを直接 FPGA の回路により制御することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数をパケットの一部検出に用いることで高速なフィルタリング試験を実現する
53	第 4936349 号	金属内包カーボンナノカプセルの製造方法	H24.3.2	基昭夫 片岡征二 他 2 名	量産性に優れた金属内包カーボンカプセルの製造方法
54	第 5019445 号	低摩擦摺動部材および低摩擦転動部材	H24.6.22	基昭夫 他 4 名	大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および転動部材を提供する
55	第 5022207 号	多層編地および多層編地の編成方法	H24.6.22	飯田健一	5 層編地や 7 層編地など、3 層より多くの層を有する多層編地を提供する
56	第 5025209 号	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24.6.29	田中実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
57	第 5055617 号	分注装置	H24.8.10	楊振 他 3 名	従来の分注装置の高さを低くし、小型の分注装置とする
58	第 5058964 号	揮発性有機化合物ガス含有空気の吸脱着装置及び吸脱着方法	H24.8.10	阪口文雄 武田有志 佐藤俊彦 他 1 名	VOC ガスを含有する大風量かつ低濃度の VOC ガス含有空気から VOC ガスを吸脱着して回収するにあたり、小型でありながら効率良く VOC を回収する装置を提供する
59	第 5078002 号	ダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法	H24.9.7	玉置賢次 片岡征二 他 2 名	鉄基金属上に密着性良くダイヤモンド膜が被覆されたダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法を提供する
60	第 5083768 号	バイオセンサシステム	H24.9.14	沢井正之 他 2 名	溶存酸素の影響を受けずに、NAD+ または NADP+ を補酵素とする脱水素酵素の基質を正確に定量することができ、安価に製造することができ、かつ携帯性に優れた、バイオセンサシステムを提供すること
61	第 5105957 号	自動車燃料中の植物由来エタノール混合量の測定法	H24.10.12	斎藤正明	植物由来のエタノールを含む炭化水素系自動車燃料中のバイオエタノールの正確で簡便な測定法を提供する
62	第 5107261 号	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	H24.10.12	加澤エリト 他 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する
63	第 5107571 号	LED 制御方法	H24.10.12	宮島良一 小林丈士 五十嵐美穂子	多数の多色 LED を均一に同時点灯可能な LED 制御回路を提供する
64	第 5116245 号	自動分析装置に用いる検量線作成用化合物	H24.10.26	上野博志 山本真 石田直洋 金子真理奈 他 1 名	硫黄・および主要なハロゲン (F、Cl、Br、I) について同時に検量線を作成することのできる新規な検量線作成用化合物を提供する
65	第 5135022 号	揮発性有機物分解菌用担持体及び汚染土壌の浄化方法	H24.11.16	紋川亮	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することが可能とする揮発性有機物分解菌用担持体、および、該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法を提供することである

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
66	第 5135341 号	燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	H24. 11. 16	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により高精度に形成する。ベースプレート 10a 上に反応ガスの流通経路となる所定のパターンの隔壁 11 を印刷によって形成する燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、導電性材料を含むインク組成物をスクリーン印刷によって順次上方に複数回印刷を重ねることにより隔壁 11 となる所定の厚さの導電性インキ層 11a~11e を形成することを特徴とする
67	第 5137768 号	断面形態制御繊維およびその製造方法	H24. 11. 22	山本清志	減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊維等の断面形態を制御されたポリエチレンテレフタレート繊維およびその製造方法を提供する
68	第 5140519 号	はんだの組成分析方法	H24. 11. 22	林英男 上本道久	鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元素と不純物元素とを同時に分析する方法を提供する
69	第 5147633 号	フッ素アパタイトの製造方法	H24. 12. 7	渡辺洋人 仙名保	高い活性の可視光応答型光触媒が得られるように、ヒドロキシアパタイト粉体からフッ素アパタイトを製造する
70	第 5175584 号	局所表面プラズモン共鳴イメージング装置	H25. 1. 11	紋川亮	金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズモン共鳴 (LSPR) を利用して、DNA およびタンパク質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などのタンパク質標識を行うことなく検出する LSPR イメージング装置を提供する
71	第 5177472 号	カット面を着色したダイヤモンド粒子の製造方法、およびカット面に文様を描画したダイヤモンド粒子の製造方法	H25. 1. 18	谷口昌平 他 1 名	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としないから一ダイヤモンド製造方法を提供する
72	第 5183301 号	成型型およびその製造方法	H25. 1. 25	寺西義一 他 3 名	ガラス状炭素部材を用いて、離型性が高く、しかも凹凸部のアスペクト比が大きい場合に適した成型型およびその製造方法を提供する
73	第 5183328 号	編成体及びその製造方法	H25. 1. 25	樋口明久	無機繊維と収縮繊維との交差糸から編成されたものをを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体
74	第 5207669 号	再生繊維製造装置及び繊維製造方法	H25. 3. 1	樋口明久 他 2 名	塩ビ系壁紙を粉砕処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およびその製造方法
75	第 5214290 号	食品用 X 線異物検査装置およびその方法	H25. 3. 8	大平倫宏 周洪鈞 他 2 名	ベルトコンベア上を流れる食品パックに X 線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法を開発した
76	第 5231294 号	揮発性有機化合物吸着材とその製造方法	H25. 3. 29	瓦田研介 井上潤	廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出されるリグニン残渣を揮発性有機化合物 (VOC) 吸着材に転換する技術に関するものである

## (2) 外国特許登録

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
1	米国特許 第 5203901 号	結晶化ガラスの製造方法	H5. 4. 20	鈴木蕃	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石または大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
2	韓国特許 第 10-1212393 号	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 12. 7	田中実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの

## (3) 実用新案登録

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
1	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	H21. 3. 11	秋山正 他 1 名	立体性を有し、かつより複雑な動作を現出し得るモバイル細工

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
2	登録第 3170441 号	照明器具	H23. 8. 24	上野明也 他 1 名	シェード部に設けられた模様板を光源が発する熱から保護し、インテリア性の高い照明器具
3	登録第 3171954 号	ブラジャー	H23. 11. 2	藤田薫子 他 1 名	授乳者や、乳ガンにより乳房を切除した乳ガン患者等が使用する、各種パッドを装着可能な圧迫感の小さいブラジャー

#### (4) 商標登録

番号	登録番号	名称	登録年月日	内 容
1	登録第 5358694 号		H22. 10. 8	世界一高い電波塔東京スカイツリー、墨田区をモチーフにデザイン開発した墨田区発の子供服中心のブランド
2	登録第 5424369 号	サスティーモ (標準文字)	H23. 7. 8	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した漆器
3	登録第 5466219 号		H24. 1. 27	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラス
4	登録第 5492668 号	merilab●	H24. 5. 11	メリヤス (ニット) の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー (実験室) の「ラボ」から生まれたニットブランド

### 4.1.3 出願中案件

#### (1) 国内出願

番号	出願番号	出願年月日	名称	発明者	内容
平成 12～17 年度					
1	2001-024519	H13. 1. 31	縮結体縮付け力安定化剤、これを用いた縮付け力安定化法、安定化剤を付着した縮結体構成部品	石田直洋 他 3 名	ブテンやイソブテン等の不飽和炭化水素の重合体からなる安定化剤を縮結部に付着させることによってトルク係数のバラツキを抑え、安定した縮付け力を得る
2	2001-276413	H13. 9. 12	吸水性材料、吸水性材料の製造方法、吸水材	山本真 他 4 名	草炭にアクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させて製造する高吸水性材料
3	2005-104899	H17. 3. 31	流体の浄化方法	斎藤正明	流体(液体または気体)の浄化方法に関するもの。流体中に存在する被除去有機成分をポリマー発泡体の内部に取り込む
4	2005-363983	H17. 11. 20	草炭からの土壌改良材およびこれを用いた植物成長方法	山本真 陸井史子 他 1 名	草炭を改質して作製した吸水性材料や微生物資材等を草炭に配合して作製した緑化用土壌の土壌改良材に関する事
5	2006-052500	H18. 2. 28	高速パターンマッチング装置の探索方法	坂巻佳壽美 乾剛 高山匡正 他 3 名	バイナリサーチ方式の高速化に関する装置である。メモリ階層構造を有効に活用しコストを抑えながら高速化を図ることができる
6	2006-71794	H18. 3. 15	鉄スクラップからのリサイクル圧延鋼材の粒界浸潤性の評価および制御方法	上本道久 長崎千裕	鉄スクラップからの圧延鋼材のリサイクル技術に関する事。圧延鋼材の表面における粒界浸潤性の評価方法ならびにこれに基づくスクラップ鋼材の圧延処理方法
平成 18 年度					
1	2006-332669	H18. 12. 8	手術用ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	加澤エリト 他 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する
2	2006-355457	H18. 12. 28	親水性熱可塑性共重合体	清水研一 篠田勉 上野博志	芳香族ビニルジエン共重合体の二重結合部分のみにカルボキシ基を付加して、親水性の高分子材料を得る方法に関する事
3	2007-079315	H19. 3. 26	アーク発光分光による材料中の微量成分分析法	佐々木幸夫	アーク発光分光分析装置にアルゴンと酸素の混合ガスを導入することによる金属材料中の炭素を主とした微量成分の定量分析に関する事
平成 19 年度					
1	2007-198213	H19. 7. 30	タンパク質自動合成精製方法及び装置	楊振 佐々木智憲	円盤状のチップの上、微細な構造体を構築し、小さいスペースかつ安価なタンパク質の自動合成と精製が実現できるように、多品種の同時構成精製も対応する
2	2007-286805	H19. 11. 2	ガラス状炭素材からなる微細成形型とその製造方法ならびにこれを用いた微細成形型	寺西義一 他 1 名	金型基材にガラス状炭素を用い、その基材を 2000-2500℃以上に熱処理して黒鉛成分の金型とほぼ同様な離型特性を持たせ、その後、マイクロ・ナノレベルの金型を作成する技術
3	2007-303522	H19. 11. 22	吸着槽交換時期を監視するシステム及びこれを具備する揮発性有機化合物廃ガス処理装置	阪口文雄 武田有志	揮発性有機化合物ガス処理装置において、吸着体による捕集不能となる状態の検出機構ならびに検出方法を発明した。これにより、吸着体の効率的な交換や脱着が図れる
4	2008-010369	H20. 1. 21	カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法	柳捷凡 他 2 名	カーボンナノチューブ自体の特性を損なうことなく、簡単な方法によりカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、機械強度や導電性が優れた硬化物およびその製造方法
5	2008-014005	H20. 1. 24	マグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型	基昭夫 他 4 名	ダイヤモンド膜コーティング金型を用いて、マグネシウム合金材の冷間、温間、熱間無潤滑加工方法
6	2008-018066	H20. 1. 29	マイクロバルブを有する微細流路	伊東洋一 基昭夫 他 2 名	微細流路内に磁力を用いて金属内包カーボンナノ粒子を固定・移動させることにより液体や気体の流れを制御(ON・OFF)させる技術



番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
7	2008-022789	H20. 2. 1	路面標示物の除去装置及び路面標示物の除去方法	小池茂幸	道路の路面表示物の消去方法および装置、内容は道路路面標示塗料は150℃で溶けるため、ヒーターによりより溶かし、ローラーブラシでかきとるもの。残渣は回収する
8	2008-054596	H20. 3. 5	ガス濃度測定装置および測定方法、累積ガス量測定装置および測定方法、ガス除去装置における除去剤の除去限界類推装置および類推方法	武田有志 他 3 名	管内を通過する揮発性有機化合物ガスの累積ガス量を1つのセンサで計測する機構とその方法を発明した。これにより、例えば除去剤の除去限界を類推することができる
平成 20 年度					
1	2008-131617	H20. 5. 20	高強度ダイヤモンド膜工具	横澤毅 玉置賢次 寺西義一 片岡征二 他 2 名	気相法による膜状ダイヤモンドにボロンをドーピングすることによって破壊強度が高く、導電性のある膜状ダイヤモンドを発明した
2	2008-143107	H20. 5. 30	難溶性アミノ酸類微細粒子、難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びこれらの製造方法並びに皮膚外用剤及び食品添加物	柳捷凡 他 3 名	L-シスチン等難溶性アミノ酸類を改質しなく、湿式粉碎法により、化粧品に配合し易く、吸収性の優れた難溶性アミノ酸類微粒子とそれを含有する混合組成物を提供する
3	2008-207817 【優先権主張】 原出願 2007-211689	H20. 8. 15	揮発性有機物吸収材及びその製造方法	紋川亮 田村和男	ゲル状もしくは固体状であり、吸収対象が限定されず、そして VOC の吸収能が高く、さらに交換や再生を頻繁に行う必要がない有用な揮発性有機物吸収材およびその製造方法
4	2008-218293	H20. 8. 27	徐放性製剤とその製造方法	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎巖	アリルイソチオシアネートとエチルシリケート加水分解液を反応させ徐放性製剤を開発した。同製剤は有効成分が徐放し、黒麹かびおよび青かび等に対する防かび効果を確認した
5	2008-246074 【優先権主張】 原出願 2007-255597	H20. 9. 25	微細成型型および微細成型用基材並びに微細成型型の製造方法	寺西義一 三尾淳 石東真典	ガラスなどの金型基材に炭素や塩素イオンなどをイオン注入し、その基材に離型特性を持たせ、その後、マイクロ・ナノレベルの金型の凹凸を作成、転写する技術
6	2008-263686	H20. 10. 10	多孔質アパタイトおよびその製造方法	渡辺洋人 仙名保	本発明は、粉碎法による多孔質ナノヒドロキシアパタイトの製造方法に関し、乾式粉碎時に生じる粒子間の結合を、段階的な水の添加によりメカノケミカル的に加水分解することを特徴とする
7	2008-283986	H20. 11. 5	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	渡部友太郎	Al-Si 系と Al-Mg 系アルミニウム合金界面では、Mg <sub>2</sub> Si という合金相が形成され、機械的強度は期待できないが、液相同士の間接合は、Mg <sub>2</sub> Si の生成量が少なく、十分な機械的強度が得られる
8	2008-303347	H20. 11. 28	生地加工方法	木村千明 小林研吾 藤田茂	合成繊維とセルロース系繊維とを組成繊維とする織物または編物から成る生地に透かし模様と凹凸模様とを同時形成するための生地加工方法
9	2008-322621	H20. 12. 18	粉体分離装置 粉体分離システム、及び粉体分離方法	樋口明久 他 7 名	塩ビ系壁紙を粉碎処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を風速 10~30m/s で傾斜板に衝突させて分離を行い良質なパルプ繊維を回収する装置および製造方法
10	2009-024032	H21. 2. 4	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	横澤毅 片岡征二 他 1 名	本発明は、曲面形状・微少孔・複雑形状面などにコーティングされた CVD ダイヤモンド膜表面を、短時間で効率よく研磨できる装置と方法に関するもの
11	2009-42030	H21. 2. 25	マグネシウム合金部材のせん断加工用金型およびせん断加工方法	基昭夫 他 2 名	マグネシウム合金は、常温での延性が乏しくせん断面が荒れるため、最適加工条件や工具形状を開発し、現行品に使用されているアルミニウム合金と同等のせん断面平滑度を得た

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
12	2009-42804	H21. 2. 25	織物及び編物のプリーツ性試験方法とその装置	田中みどり 岩崎謙次	伸長法プリーツ性試験方法の距離測定を目視から画像センサーによる方法に改善し、正確かつ効率的な試験が可能となる装置を製作した
13	2009-046676 【優先権主張】 原出願 2008-048769	H21. 2. 27	揮発性有機化合物吸着材とその製造方法、並びに樹皮又はその成型体の利用方法	瓦田研介 井上潤	針葉樹の樹皮で構成されたペレットを熱処理することで、揮発性有機化合物の吸着剤を製造する方法。また、吸着剤を酸処理し、揮発性有機化合物の吸着能力を向上させる方法を考案した
14	2009-53490	H21. 3. 6	局在プラズモン共鳴センサ	加澤エリト 紋川亮	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学センサの性能向上に関する。センサ性能低下の要因となっていた導電・密着層を熱処理により誘電体化することを特徴とする
15	2009-73154	H21. 3. 25	揮発性有機物回収システム及び揮発性有機物回収方法	紋川亮	揮発性有機物を効率的に液化して回収することができる揮発性有機物回収システムおよび揮発性有機物回収方法を提供する
16	2009-75049	H21. 3. 25	揮発性有機物吸収材	紋川亮 秋山恭子	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することが可能である揮発性有機物分解菌用担持体、および、該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法
平成 21 年度					
1	2009-096262	H21. 4. 10	防かび剤	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎巖 中村宏	イペ(Tabeuia spp.)心材の抽出成分を濃縮、乾固させた原体製剤を開発した。原体製剤を、溶媒に溶解、または油脂性基剤に分散させた製剤を、革製品等に塗布することで製品に防かび性能を付与できた
2	2009-105359	H21. 4. 23	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	紋川亮 加澤エリト	従来の VOC センサが抱える前述の問題点を含むさまざまな課題を解消し、高い VOC 吸着能力および光透過性能力を持つメソポーラスシリカなどの多孔質光透過性吸着材を活用した、透過型の局在表面プラズモン共鳴センサを提供する
3	2009-106510	H21. 4. 24	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	紋川亮	揮発性有機物の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置および揮発性有機物処理方法を提供する
4	2009-106520	H21. 4. 24	光イオン化センサ検出器及び光イオン化検出方法 ⇒光イオン化検出器及び光イオン化検出方法	平野康之 吉田裕道 加澤エリト 原本欽朗	測定感度の低下を低減でき、メンテナンスフリーおよび高精度測定をもできる光イオン化検出器
5	2009-134114 【優先権主張】 原出願 008-145511	H21. 6. 3	編針及びその製造方法	堀江暁 森河和雄 三尾淳 川口雅弘	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するためにダイヤモンドライクカーボン膜を施した編針を開発した
6	2009-134259	H21. 6. 3	揮発性有機物化合物の浄化装置及びその浄化方法	紋川亮 他 1 名	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法
7	2009-170391	H21. 7. 21	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	中澤亮二 小山秀美	ソーダ石灰ガラスに薄型テレビパネルガラスおよび発泡剤を混合し焼成することで生成することで高いリン酸吸着能を有するガラス発泡体が製造できる
8	2009-200679 【優先権主張】 原出願 2008-224364	H21. 8. 31	弦楽器及びその製造方法 ⇒弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法に関する発明の特許出願である。本発明は、積層造形法の応用方法と生産装置としての活用方法とを示している
9	2009-204833	H21. 9. 4	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化方法	三尾淳 他 1 名	温度制御を可能とした触媒付きプラズマ電極により、VOC 等の有害成分の分解除去を簡便かつ効果的に行うことが可能なガス浄化方法およびガス浄化装置

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
10	2009-213585	H21. 9. 15	画像合成装置及び画像合成方法	大平倫宏 他 1 名	取得順序未知の特徴に乏しい画像群に対するパノラマ画像合成装置および方法についての特許出願である。請求項では、合成後に取得漏れがあった際のアラーム機能についても記述をしている
11	2009-218022 【優先権主張】 原出願 2008-243159	H21. 9. 18	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	染川正一 石川麻子 他 1 名	トルエン等の VOC 分解活性が高く、しかも成形触媒としての強度が大きく、実用の装置、システムへの利用に適した新しい VOC 分解用触媒に関する
12	2009-266467	H21. 11. 24	家畜骨残渣の処理方法	柳捷凡	家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣を無駄なく再利用するための、低コストかつ簡便な家畜骨残渣の処理方法
13	2009-285657	H21. 11. 27	容量性リアクタンス素子と突入電流防止回路を組み合わせた高効率な交流 LED 点灯回路⇒LED 点灯回路	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	商用電源またはその他の交流電源を利用する高効率で高周波ノイズ発生の無い、LED 点灯回路
14	2009-286011	H21. 12. 17	歯間清掃具及びその製造方法	許琛 樋口明久	歯間のみならず、歯の曲面に付着している歯垢をも清掃できる歯間清掃具
15	2009-286822	H21. 12. 17	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	小沼ルミ 宮崎巖 飯田孝彦 濱野智子 瓦田研介 他 1 名	表面に塗膜を形成されていない木材および木製品、特に、桐の無垢材や、桐のつき板を用いた天然木化粧合板などの木質材料、桐箱・桐たんすなどの木製品に対しても、これらの表面の質感を損なうことなく適用することができ、素材・半製品・製品のいずれに対しても簡便な工程で容易に安価に使用することができる、防かび剤組成物および防かび加工方法
16	2010-31649	H22. 2. 16	ポリアニリン半導体材料	中川清子 谷口昌平 山崎正夫	製造に伴う廃棄物の処理が容易な新規なポリアニリン半導体材料およびその製造方法
17	2010-46922	H22. 3. 3	活性炭及びその製造製法	瓦田研介 井上潤 萩原利哉 他 1 名	従来の煩雑な工程を経ずに容易な工程で、未利用バイオマス（特に、杉やひのき等の木質系未利用バイオマス）を原料として活用することができ、しかもコストパフォーマンスに優れた、高比表面積を有する活性炭およびその製造方法
18	2010-48371	H22. 3. 4	多孔質シリカならびにその製造方法および集合体	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術
19	2010-47994	H22. 3. 4	防護服	加藤貴司	脱衣し易く、製造が容易で十分な防護性を確保できる防護服
20	2010-47997	H22. 3. 4	防護服	加藤貴司	脱衣し易く、製造が容易で十分な防護性を確保できる防護服
21	2010-47999	H22. 3. 4	防護服	加藤貴司	脱衣し易く、製造が容易で十分な防護性を確保できる防護服
22	2010-70763	H22. 3. 25	金属部材のプレス加工方法およびプレス加工用金型	小金井誠司 基昭夫 他 5 名	チタン部材やマグネシウム合金部材といった加工の難しい金属部材をプレス加工するのに好適な金属部材のプレス加工方法およびそのプレス加工用金型
23	2010-71902	H22. 3. 26	揮発性有機化合物分解反応器	紋川亮 杉森博和 秋山恭子 他 1 名	揮発性有機化合物分解反応器をガスの流れが均一になるような構造にすることで、分解反応に寄与しないデッドゾーンが生じることを回避することで分解効率を上げ、さらに反応器自体の製造コストを抑えることを可能とする揮発性有機化合物分解反応器
24	2010-72806	H22. 3. 26	工場排気ガス処理装置	小島正行 平野康之 他 2 名	印刷工場、塗装工場、金属表面処理工場等から排出される、光化学スモッグの原因となる微小粒子物質、特に VOC（揮発性有機化合物）および塗料、インクなどの高沸点有機化合物並びにダスト等を、ろ布に担持した吸着剤を使って除去する。ハンドリング性に優れ、かつ吸着剤の消費量が少なく、また、吸着剤の再生が容易な排気ガス処理装置

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
25	2010-72807	H22. 3. 26	工場排気ガスの 2 層ろ過装置	小島正行 他 2 名	塗装、めっき、印刷等の各種工場の排気ガスに含まれるミスト、VOC、ダストなどの有害成分を、ろ布と 2 種類のろ過補助材を使って捕集する。ろ過補助材は未利用資源である木材を有効利用し、適宜回収、再生することで経済的なプロセスを確立
26	2010-74034	H22. 3. 29	掲示板のための照明装置	中村広隆 榎本博司 三上和正 長谷川孝 西澤裕輔 他 3 名	掲示板の照明に関して比較的均一な照度分布が得られ、また、比較的低いコストでの製造または完成を可能とする照明装置
27	2010-81190	H22. 3. 31	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	神田浩一 坂巻佳壽美 大原衛 金田泰昌 加藤光吉 他 4 名	誘因効果が高く、効率のよいネズミ捕獲が可能となる誘引方法
平成 22 年度					
1	2010-129014	H22. 6. 4	二脚型移動装置	坂下和広	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに乗り越えすことのできる二脚型移動装置
2	2010-152637	H22. 7. 5	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	菊池有加 峯英一 上野博志 他 1 名	検量線を作成するフッ素、塩素、臭素、ヨウ素を含む 4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質の収率を向上させて、また、氷冷下での滴下ではなく室温の環境下で合成することで生産環境を向上させて生産性を高めることで、工業生産が容易な上記 4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法
3	2010-162015	H22. 7. 16	水道用ゴムパッキン	清水研一 飛澤泰樹 他 2 名	高度の物性と多量の吸水性を併せて保持し、且つ安全性に優れた水道用ゴムパッキン
4	2010-163584	H22. 7. 21	フィールド機器用データストレージシステム	金田泰昌 入月康晴 佐野宏靖 他 6 名	記録済みのデータが外部から改変或いは削除されたりする可能性を低減できる、フィールド機器用データストレージシステム
5	2010-198628	H22. 9. 6	導電紙及びその製造方法	上野武司 竹村昌太 島田勝広	金属化率をほぼ 100%とすることで、1~1000MHz の範囲の周波数で 30~60dB の範囲の優れたシールド特性、耐熱性を有すると共に、優れた加工性を有し、また、低廉な価格で製品化できる導電紙およびその製造方法
6	2010-201507 【優先権主張】 原出願 2009-209756	H22. 9. 9	人工骨部材	寺西義一 他 1 名	セラミックス表面へ、生体無害イオンを直接照射することにより、特殊膜などを使用せずに自家骨への接着性、非接着性の制御機能などを付与する
7	2010-219707	H22. 9. 29	アルミニウム合金の材質判定方法及び材質判定装置	竹澤勉 上本道久 伊藤清	高品位のアルミニウム合金展伸材をそのまま展伸材として水平リサイクルし、省エネルギー化・省資源化に役立てることができるアルミニウム合金の材質判定技術
8	2010-248770	H22. 11. 5	塗装物のパッチ式乾燥装置及びその操作方法	小島正行 染川正一 秋山恭子 荻原利哉 他 2 名	判定作業の効率化を図り、被測定用半導体材料を面的に PN 判定する
9	2010-280036	H22. 12. 16	コラーゲン線維ゲルおよびその用途	柚木俊二 他 2 名	細胞の牽引力により収縮しない細胞培養用コラーゲン線維ゲルの提供
10	2010-287832	H22. 12. 24	三次元座標測定機簡易検査用ゲージ	中西正一 西村信司 中村弘史	JIS B 7440-2 に関する三次元座標測定機の寸法検査（目盛校正）の簡易検査と同時に JISB 7440-5 に関するマルチスタイルラスの簡易検査およびそれぞれのスタイルラスまたは方向性の相関の評価も行える三次元座標測定機簡易検査用ゲージを提供する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
11	2011-002763	H23. 1. 11	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具	小金井誠司 基昭夫 他 4 名	チタン部材について、ドライ環境下での曲げ加工が行えるようにしたチタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具を提供する
12	2011-016517	H23. 1. 28	表示装置	豊島克久	目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができる表示装置を得る
13	2011-026993	H23. 2. 10	情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法	大平倫宏	3次元図形を構成する複数の頂点に対応する複数の頂点データを有する3次元図形データに対する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにおいて、データの改ざんが検出されやすくする
14	2011-038925	H23. 2. 24	オゾン濃度測定装置	中村広隆 他 6 名	測定セルを通過する試料ガスが長い透過距離を移動すると透過中にオゾンが何度も紫外線に照射され、正しいオゾン濃度測定ができない。このため、窒化物系深紫外線半導体素子を使用した、正しい測定値が得られ、装置へのダメージを排除するオゾン濃度測定装置を提供する
15	2011-041203	H23. 2. 28	LED点灯回路	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	点灯時の突入電流からのLED保護と低消費電力化を両立し、比較的動作電流の大きいLEDの点灯を可能とするLED点灯回路を提供する
16	2011-045449	H23. 3. 2	加熱補助器具及び加熱装置並びに化学的酸素消費量の測定方法及び加熱方法	荒川豊	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の加熱むらを小さくすることができる加熱補助器具、加熱装置および加熱方法、並びに、複数の試料水について簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の測定精度のばらつきを小さくすることができる化学的酸素消費量の測定方法を提供する
17	2011-052181 【優先権主張】 原出願 2010-084160	H23. 3. 9	無機酸化物成形触媒とその製造方法	染川正一 他 1 名	トルエン等のVOC分解活性が高く、しかも成形触媒としての強度が大きく、実用の装置、システムへの利用に適した新しいVOC分解用触媒を提供する
18	2011-059966	H23. 3. 18	赤色ガラス	大久保一宏 増田優子 上部隆男 他 2 名	CdSe や CdS の有害物質を添加しなくとも、その有害物質を添加した赤色ガラスの色調と同様な、鮮やかな赤色の色調の赤色ガラスを提供することを課題とする
19	2011-065307	H23. 3. 24	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	染川正一 小島正行 萩原利哉 藤井恭子 堂免一成	揮発性有機化合物用の触媒層を担体に担持するにあたって、触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき、且つ触媒層が担体から剥離しにくいので、触媒性能のアップを図ることができると共に触媒燃焼法の装置設計がし易くなる
平成 23 年度					
1	2011-124782	H23. 6. 3	有害化学物質低減木質ボードの製造方法と有害化学物質低減木質ボード	濱野智子 瓦田研介 他 2 名	木質ボードにおいて、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ユリア樹脂、イソシアネート樹脂等の石油系樹脂を接着剤に使用しながら接着耐久性や操作性を確保しつつシックハウス症候群の原因である有害化学物質を有意義な程度まで低減した木質ボードの実現
2	2011-126795	H23. 6. 6	数値データの圧縮システム及び方法	大原衛 山口隆志	FPC方式の技術的課題を解消し、浮動小数点形式の数値データの圧縮率を向上させる
3	2011-138440	H23. 6. 22	絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品	武田浩司 木村千明 小林研吾	絹繊維品本来の特性を損なうことなく、ブリーツの保持性が優れる絹繊維織物等の絹繊維品のブリーツ加工方法およびそのブリーツ加工品を提供する
4	2011-144300	H23. 6. 29	無機・有機複合粒子及びその製造方法	柳捷凡	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法を提供する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
5	2011-146285	H23. 6. 30	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	峯英一 菊池有加 小野澤明良 上野博志 他1名	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキットを提供する
6	2011-150229	H23. 7. 6	相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法およびその相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法	梶山哲人 清水研一 林孝星 安田健	未公開
7	2011-150689	H23. 7. 7	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	長坂浩志	熱フィラメント CVD 法によって、有効成膜面積を大面積化することのできる熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いた薄膜の形成方法を得る
8	2011-151286	H23. 7. 7	人体模型	菅谷紘子 岩崎謙次	未公開
9	2011-175078	H23. 8. 10	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	未公開
10	2011-179367	H23. 8. 19	はんだの組成分析方法およびはんだ溶解酸液	林英男	未公開
11	2011-185806	H23. 8. 29	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他2名	未公開
12	2011-190197	H23. 8. 31	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他2名	未公開
13	2011-190206	H23. 8. 31	成形体の製造方法	木下稔夫 神谷嘉美 村井まどか 清水研一 他2名	未公開
14	2011-190209	H23. 8. 31	成形用材料と、これを用いた成形体	木下稔夫 三尾淳 高橋千秋 城照彰	未公開
15	2011-201762	H23. 9. 15	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	原本欽朗 平野康之 吉田裕道	未公開
16	2011-220890	H23. 10. 5	スラリー状触媒液の付着装置	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉	未公開
17	2011-220895	H23. 10. 5	塗装物の乾燥・焼付炉	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉 他1名	未公開
18	2011-227936	H23. 10. 17	熱型加速度センサー	豊島克久	未公開
19	2011-228859	H23. 10. 18	有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置	杉森博和 他1名	未公開
20	2011-236695	H23. 10. 28	制御システム	佐藤研 佐野宏靖 他1名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
21	2011-260878	H23. 11. 29	電解セル	斎藤正明	未公開
22	2011-262112	H23. 11. 30	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム	小野澤明良 木下稔夫 他1名	未公開

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
23	2011-202620 【優先権主張】 原出願 2010-209727	H23. 9. 16	流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター及びその流路形成方法	田中実 伊東洋一 上部隆男 他 1 名	石英ガラス基板の両板の対向面にガラスペーストを印刷してリブを形成しても、焼成で溶解により崩壊せずに、高さが 50～500 $\mu\text{m}$ の流路形成用ガラス組成物から成る微細流路が形成でき、石英ガラス基板を強固に接合でき、クラックが発生しない線熱膨張係数の小さな、ホウ珪酸塩ガラスを含有する流路形成用ガラス組成物を提供する
24	2011-276326	H23. 12. 16	防護帽、防護帽の使用方法、防護服及び防護装置	服部遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 他 2 名	未公開
25	2011-282885	H23. 12. 26	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	斎藤正明	未公開
26	2011-283724	H23. 12. 26	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材	中澤亮二 佐々木直里 小山秀美 平井和彦	未公開
27	2011-287408	H23. 12. 28	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	藤巻研吾 横澤毅	未公開
28	2012-015800	H24. 1. 27	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸	未公開
29	2012-068325 【優先権主張】 原出願 2011-064405	H24. 3. 23	冷却基材、冷却シート及びネッククーラー	清水研一 飛澤泰樹 他 1 名	未公開
30	2012-074775 【優先権主張】 原出願 2011-071215	H23. 3. 28	コーラゲン膜及び培養容器	大藪淑美 柚木俊二	未公開
平成 24 年度					
1	2012-103787	H24. 4. 27	尾てい骨保護下着	藤田薫子	未公開
2	2012-129660	H24. 6. 7	重金属吸着剤及び重金属回収方法	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	未公開
3	2012-143083	H24. 6. 26	テトラフルオロエチレンにより化学修飾されたポリエチレンおよびその製造方法	榎本一郎	未公開
4	2012-150881	H24. 7. 4	冷却シート	飛澤泰樹 清水研一	未公開
5	2012-151440 【優先権主張】 原出願 2011-150229	H24. 7. 5	相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶されて	梶山哲人 清水研一 林孝星 安田健	未公開
6	2012-154100 【優先権主張】 原出願 2011-151286	H24. 7. 9	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	菅谷紘子 岩崎謙次	未公開
7	2012-180829 【分割出願】 原出願 2008-131617	H24. 8. 17	高強度ダイヤモンド膜工具	横澤毅 寺西義一 玉置賢次 片岡征二 他 1 名	耐久損性を向上させることで破壊強度と耐摩耗性に優れ、かつ放電加工等の電気加工を主体とした研磨加工が可能な多結晶・単結晶の高強度ダイヤモンド膜工具やコーティング工具を提供することにある
8	2012-181879	H24. 8. 20	補助布付きコート、補助布及びマフラー	加藤貴司	未公開
9	2012-186879 【優先権主張】 原出願 201-185806	H24. 8. 27	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 1 名	未公開
10	2012-214096	H24. 9. 27	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	窪寺健吾 山本悦子 樋口英一 樋口明久	未公開

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
11	2012-227142 【分割出願】 原出願 2009-520544	H24. 10. 12	燃料用電池用セパレータ プレートの製造方法及び それを利用した燃料電池	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける 反応ガスの流通経路のパターンをスクリー ン印刷により非印刷部分を設けつつ高 精度に形成する
12	2012-241704	H24. 11. 1	鳥獣識別装置、鳥獣識別 方法、及びプログラム	大平倫宏 富山真一	未公開
13	2012-251622	H24. 11. 15	ハイドロゲル	柚木俊二 大藪淑美 関口正之	未公開
14	2012-255357	H24. 11. 21	高融点ゼラチン組成物、 その製造方法、およびそ の用途	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉	未公開
15	2012-256802	H24. 11. 22	コラーゲン水溶液及びそ れから得られるゲル	柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉	未公開
16	2012-257432	H24. 11. 26	ライトパイプ	横田浩之	未公開
17	2012-266048	H24. 12. 5	プラスチックのバイオマ ス由来判別方法	永川榮泰 柚木俊二 斎藤正明	未公開
18	2012-275046 【優先権主張】 原出願 2011-275027	H24. 12. 17	骨結合性材料、人工骨並 びに基材と自家骨との結 合促進方法	寺西義一 他 1 名	未公開
19	2013-001809	H25. 1. 9	リグノセルロースからの セルロース抽出方法	濱野智子 飯田孝彦 小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介	未公開
20	2013-021929	H25. 2. 7	メカニカルシールおよび その製造方法	長坂浩志 渡辺友太郎 寺西義一 他 1 名	未公開
21	2013-052321	H25. 3. 14	塩化物イオンの定量方法 及び塩化物イオンの定量 装置、並びに、塩素の定 量方法	杉森博和 安藤志理 田熊保彦 瓦田研介 荒川豊	未公開
22	2013-070640 【優先権主張】 原出願 2012-125985	H25. 3. 28	LED 照明の分光分布設計 方法	岩永敏秀 中村広隆 他 4 名	未公開

## (2) 外国出願

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
1	第 10-2007-96585 【優先権出願】 原出願 2006-262181 【韓国出願】	H19. 9. 21	絶縁層を形成するための 無鉛硼珪酸塩ガラスフリ ット及びそのガラスペー スト	田中実 上部隆男 他 3 名	本発明による無鉛硼珪酸塩の無鉛化低融 点ガラスフリットは、鉛化合物を用いず、 環境にやさしく安定性がよい
2	米国 13/061905 【外国出願】	H23. 3. 2	弦楽器、その製造方法及 び装置	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦 楽器の製造作製方法に関する発明の特許 出願である。本発明は、積層造形法の応 用方法と生産装置としての活用方法とを 示している
3	第 10-2012-7025433 【優先権出願】 原出願 2010-048371 【韓国出願】	H24. 9. 27	多孔質シリカの製造方法 および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シ リカに適用する有効な技術

## (3) PCT 出願

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
1	PCT/JP2007/001085 【優先権出願】 原出願 2006-274408	H19. 10. 4	カット面を着色したダイ ヤモンド粒子の製造方 法、およびカット面に模 様を描画したダイヤモンド 粒子の製造方法	谷口昌平 他 1 名	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方 法であり、短時間に処理でき、照射後の 熱処理を必要としないカラーダイヤモン ド製造方法を提供する



番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
2	PCT/JP2007/073723 【優先権出願】 原出願 2006-332669	H19. 12. 7	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	加澤エリト 他 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する
3	PCT/JP2008/61295 【優先権出願】 原出願 2007-169390	H20. 6. 20	燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池用セパレータブレードの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回刷重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法
4	第 10-2009-7023522 【韓国移行】 PCT/JP2008/061295	H21. 1. 11	燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池用セパレータブレードの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回刷重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法
5	PCT/JP2009/058891 【優先権出願】 原出願 2008-127030	H21. 5. 13	トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法	月精智子 他 4 名	トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法に関し、特に高感度かつ簡便にトルエンを検出することができる、トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法
6	PCT/JP2009/065214 【優先権出願】 原出願 2008-224364	H21. 8. 31	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器の製造装置	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法に関する発明の特許出願である。本発明は、積層造形法の応用方法と生産装置としての活用方法とを示している
7	PCT/JP2011/054928 【優先権出願】 原出願 2010-048371	H23. 3. 3	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術
8	PCT/JP2011/07292 【優先権出願】 原出願 2010-222197	H23. 9. 28	燃料電池用集電材	樋口明久	未公開
9	PCT/JP2012/004025 【優先権出願】 原出願 2011-201762	H24. 6. 21	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	未公開
10	PCT/JP2012/71699 【優先権出願】 原出願 2011-185806	H24. 8. 28	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 1 名	未公開
11	PCT/JP2012/072214 【優先権出願】 原出願 2011-190197	H24. 8. 31	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 1 名	未公開
12	PCT/JP2012/072216 【優先権出願】 原出願 2011-190206	H24. 8. 31	成形体の製造方法	木下稔夫 神谷嘉美 村井まどか 清水研一 他 1 名	未公開
13	PCT/JP2012/0072217 【優先権出願】 原出願 2011-190209	H24. 8. 31	成形用材料と、これを用いた成形体	木下稔夫 三尾淳 高橋千秋 城照彰	未公開
14	PCT/JP2012/077719 【優先権出願】 原出願 2011-236695	H24. 10. 28	制御システム	佐藤研 佐野宏靖 他 1 名	未公開

#### (4) 実用新案出願

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
1	実願 2013-1526	H25. 3. 21	注射器の針部材取り外し器具ユニット	石堂均 他 1 名	医療安全に関する。さらに詳しくは、針刺し事故の防止と自己注射器材のユーザビリティに関する
2	実願 2013-1673	H25. 3. 27	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	西川康博 佐野宏靖 小船諭史 岩田雄介	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばねに関する

#### 4.1.4 実施許諾

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
1	特許	特許 3812783	超音波振動付加型摩擦試験機	1
2	特許	特許 3406390	重水素の濃縮方法及び装置	1
3	特許	特許 4791746 韓国第 10-2006-28002	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
4	特許	特許 4394050	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
5	特許	特願 2009-286822	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
6	特許	特許 3292239	鋳造用すず合金	1
7	特許	特許 3779290	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆／植物繊維成形体	1
8	特許	特願 2010-47997	防護服	1
9	特許	特願 2009-266467	家畜骨残渣の処理方法	1
10	特許	特願 2011-276326	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
11	特許	特願 2011-282885	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2
12	特許	特許 5107571	LED 制御方法特願	1
13	特許	特願 2007-169390、 PCT/JP2008/061295	燃料電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	1
14	特許	特願 2001-24519	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	1
15	特許	特許 3261676	電気ニッケルめっき浴	1
16	特許	特許 4599529	放射線照射判別方法および放射線判別システム	1
17	特許	特許 3122870	交流用 LED 点灯回路	2
18	特許	特願 2010-74034	掲示板のための照明装置	1
19	特許	特願 2012-251622	ハイドロゲル	1
20	特許	特許 5183328	編成体及びその製造方法	1
21	実用新案	実新 3149562	モバイル細工及びモバイル	1
22	商標	商標 5358694	ピッキーズドウ【称呼】	1
23	商標	商標 5424369	サスティーマ【標準文字】	1

#### 4.1.5 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下の通り掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS』平成24年3月号記事 (平成24年2月25日発行), 表紙, p.3 「製品化事例特集: EMCを考慮したLED照明器具」	(株)エコ・アープ	自社ホームページ内 Home > 商品概要   省エネ照明 LED > TIRI NEWSへ掲載 <a href="http://www.eco-rbe.co.jp/naiyo/?page_id=656">http://www.eco-rbe.co.jp/naiyo/?page_id=656</a>
東京都立産業技術研究センター ホームページ <a href="http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/archives/complaint/technique/s04.html#mk2">http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/archives/complaint/technique/s04.html#mk2</a> 繊維製品の非破壊によるクレーム解析試験にて撮影した顕微鏡画像 14点: 綿、ウール、絹(家蚕系)、レーヨン、ナイロン、ポリエステル、アクリル(アクリル系)の電子顕微鏡による側面・断面の外観写真	(株)NHK エデュケーショナル	NHK E テレ高校講座「科学と人間生活」第7回「衣料の科学」(放送予定7月9日14:00~14:20)およびNHK高校講座ホームページにて放送後からのインターネット放送 <a href="http://www.nhk.or.jp/kokokoza/">http://www.nhk.or.jp/kokokoza/</a>
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p.2 「廃ガラス発泡体のリン酸吸着能の改良とその特性」	農林水産省	文献データベース「JASI」および農林水産研究成果ライブラリ「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p.8 「小規模印刷工場および塗装工場におけるVOC排出の実態調査」	農林水産省	文献データベース「JASI」および農林水産研究成果ライブラリ「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p.12 「バイオレメディエーションに向けた遺伝子解析によるVOC分解菌のプロファイリング」	農林水産省	文献データベース「JASI」および農林水産研究成果ライブラリ「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p.16 「天然放射性炭素C-14を用いたバイオ燃料の由来判別技術」	農林水産省	文献データベース「JASI」および農林水産研究成果ライブラリ「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p.20 「照射食品検知用PSL装置の性能評価に使用する標準物質に関する研究」	農林水産省	文献データベース「JASI」および農林水産研究成果ライブラリ「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p.24 「魚及び魚エキスをを用いた調味料の放射線照射履歴の検知—食品より分離した鉱物質のTL分析と適用上の配慮事項—」	農林水産省	文献データベース「JASI」および農林水産研究成果ライブラリ「AGROLib」への掲載

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 32 「リアルタイム性を保証したフィールドパス の高速通信方式の実現」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 40 「SIFT アルゴリズムを応用した環境地図作成 方法」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 44 「DLC 膜の海洋中への適用」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 76 「水性塗料濁水の浄化再利用装置」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 78 「水中トリエチルアミンの評価方法及び鶏骨 炭のトリエチルアミンの吸着性」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 80 「活性炭の効率的な脱着方法の検討」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 82 「塩素系揮発性有機物の高分子吸収挙動」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 96 「ケナフ廃材と植物性プラスチックとの複合化」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第4号(平成21年)』 (平成21年12月22日発行), p. 114 「絹糸の部分接着加工とその製品化」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第5号(平成22年)』 (平成22年11月15日発行), p. 14 「食品異物検査装置のユーザビリティ向上の ためのアルゴリズム開発」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第5号(平成22年)』 (平成22年11月15日発行), p. 26 「植物マイクロコイル含有電磁シールド材」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第5号(平成22年)』 (平成22年11月15日発行), p. 30 「超音波を利用したネズミ防除装置の開発」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第5号(平成22年)』 (平成22年11月15日発行), p. 44 「廃棄物系木質バイオマスを原料とした活性炭 炭の試作実験」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第5号(平成22年)』 (平成22年11月15日発行), p. 70 「ガソリン中のバイオエタノール濃度を簡易 測定する装置の開発」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第5号(平成22年)』 (平成22年11月15日発行), p. 116 「アリルイソチオシアネートを抗菌成分とし た徐放型製剤の開発」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第6号(平成23年)』 (平成23年9月26日発行), p. 26 「草本系リグニンから調製した活性炭の細孔 構造と吸着性能」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第6号(平成23年)』 (平成23年9月26日発行), p. 96 「100%バイオマス成形材料を利用した商品開発」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第6号(平成23年)』 (平成23年9月26日発行), p. 98 「未利用バナナ繊維を用いた脂肪族ポリエス テルの改質」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第6号(平成23年)』 (平成23年9月26日発行), p. 110 「照射食品の検知-D-体アミノ酸による検知 法の検討」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第6号(平成23年)』 (平成23年9月26日発行), p. 148 「バナナ繊維/ポリブチレンサクシネート複合 体の機械特性」	農林水産省	文献データベース「JASI」および 農林水産研究成果ライブラリ 「AGROLib」への掲載

また、著作物の複写（コピー）を適正に取り扱うために、平成19年度より公益社団法人日本複製権センターと契約している。都産技研の関連情報が掲載された記事の所内掲示およびホームページ掲載は、各出版社の許諾を得て行っている。許諾を得たのは、日刊工業新聞、日本経済新聞などであった。

## 4.2 国際規格対応の支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

広域首都圏輸出製品技術支援センター（以下、「MTEP」という。）は、1都4県（都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、長野県工業技術総合センター）（注1）が連携して実施する中小企業のための海外展開支援サービスを提供する。平成24年度は、開所に向けた準備のための検討会、開所式、開所以降の円滑かつ適切な運営を進めるための運営委員会を、以下の通り開催した。

	開催年月日	開催場所	会議等名	参加機関
1	平成24年 4月13日	長野県工業技術 総合センター	開所に向けた検討会	都産技研、埼玉県産業技術総合センター、 千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業 技術センター、横浜市工業技術支援センター、 関東経済産業局、東京都産業労働局商工 部、(独)産業技術総合研究所
2	平成24年 7月13日	都産技研 本部	開所に向けた検討会	都産技研、埼玉県産業技術総合センター、 千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業 技術センター、横浜市工業技術支援センター、 関東経済産業局、東京都産業労働局商工 部、(独)産業技術総合研究所
3	平成24年 10月24日	都産技研 本部	開所式	都産技研、来賓多数
4	平成24年 11月30日	都産技研 墨田支所	TKF 推進会議	都産技研、埼玉県産業技術総合センター、 千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業 技術センター、横浜市工業技術支援センター、 関東経済産業局、東京都産業労働局商工 部、(独)産業技術総合研究所
5	平成25年 3月1日	神奈川県産業 技術センター 2階 講義室2	運営委員会	茨城県工業技術センター、栃木県産業技術 センター、群馬県立技術総合センター、都 産技研、埼玉県産業技術総合センター、千 葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技 術センター、山梨県工業技術センター、山 梨県富士工業技術センター、長野県工業技 術総合センター、横浜市工業技術支援セン ター、関東経済産業局、東京都産業労働局 商工部、(独)産業技術総合研究所

注1：H25年4月より茨城県、栃木県、群馬県、山梨県を加えて1都8県での事業体となる。

### 4.2.1 海外展開支援サービス

- 1) 海外規格（ISO、IEC）情報の閲覧サービス
- 2) 専門相談員による技術相談

都産技研には次の9名の専門相談員を置き、相談に対応した。

専門相談員氏名	技術分野
森浄	EMC、電気安全、CE マーキング、EMC 指令
松浦徹也	RoHS、REACH
池上利寛	EMC、CE マーキング、EMC 指令

藤ノ木修二	EMC、電気安全、CE マーキング、低電圧指令
吉川保	機械安全、CE マーキング、機械指令
河本康太郎	照明、電熱
日原政彦	RoHS、機械・金属
金田光範	機能安全（自動車・電子機器）
板谷雅樹	航空機関連

#### 4.2.2 普及活動

都産技研主催の展示会・セミナーや他機関主催の展示会・セミナー等へ都産技研の職員あるいは専門相談員を派遣して、MTEPの海外展開支援サービスについての普及活動を以下の通り実施した。

No.	開催年月日	実施場所	実施先の名称	担当職員
1	平成 24 年 10 月 4 日	埼玉県産業技術 総合センター	広域首都圏輸出製品技術支援センター 開設記念セミナーの開設について	片桐正博
2	平成 24 年 10 月 30 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター 開設記念セミナー「RoHS 指令・REACH 規制の動向と対策～国際化への対応～」	西野義典
3	平成 24 年 11 月 2 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター 開設記念セミナー「CE マーキング入門 (EMC 指令、低電圧指令、機械指令)」	西野義典
4	平成 24 年 11 月 6 日	東京ビッグサイト	(公財)東京都中小企業振興公社 第 2 回 海外販路開拓セミナー「タイ機械 産業最新動向」	西野義典
5	平成 24 年 11 月 13 日	朝日信用金庫	朝日信用金庫セミナー	西野義典
6	平成 24 年 11 月 16 日	信用金庫協会	信用金庫協会セミナー	西野義典
7	平成 24 年 11 月 20 日 ～22 日	東京ビッグサイト	産業交流展 2012 首都圏テクノネット ワークゾーン 相談コーナー	西野義典 藤ノ木修二専門相談員 松浦徹也専門相談員 池上利寛専門相談員 吉川保専門相談員 板谷雅樹専門相談員 金田光範専門相談員
8	平成 24 年 11 月 27 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター 開設記念セミナー「中小企業のための 安全保障貿易管理説明会（適格説明 会）」	西野義典
9	平成 24 年 12 月 4 日	たましん事業支援 センター	震災復興技術推進シンポジウム 「あ つめる、まとめる、すてる…震災に学 ぶ情報とのつきあい方」	西野義典
10	平成 25 年 1 月 18 日	神奈川県産業技術 センター	「化学物質規制に関するセミナー」	山田一徳

No.	開催年月日	実施場所	実施先の名称	担当職員
11	平成 25 年 1 月 23 日	荒川区サンパール荒川 3 階 小ホール	荒川区 MACC プロジェクト「産学金公ネットワーク構築会」	山田一徳
12	平成 25 年 1 月 25 日	(公財)東京都中小企業振興公社 浜松町館	海外ビジネススタートアップセミナー	西野義典 吉川保 専門相談員
13	平成 25 年 1 月 30 日	長野県工業技術総合センター	「広域首都圏輸出製品技術支援センター」開設記念講演会	西野義典 池上利寛 専門相談員
14	平成 25 年 2 月 1 日	神奈川県産業技術センター	「分析技術フォーラム RoHS 指令を中心とした環境負荷物質規制の最新動向」	山田一徳
15	平成 25 年 2 月 14 日	都産技研 本部	第 28 回東京都異業種交流グループ合同交流会	山田一徳
16	平成 25 年 2 月 15 日	都産技研 多摩テクノプラザ	多摩テクノプラザの提唱する品質管理「生き抜くための品質×勝つための設計力」	西野義典
17	平成 25 年 2 月 20 日	千葉県産業支援技術研究所	広域首都圏輸出製品技術支援センター開設記念セミナー「CE マーキングの基礎知識」	西野義典
18	平成 25 年 2 月 22 日	千葉県産業支援技術研究所	広域首都圏輸出製品技術支援センター開設記念セミナー「化学物質規制の最新動向」	西野義典
19	平成 25 年 3 月 4 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター技術セミナー「EU における CE マーキングと EMC 指令の適合方法について」	森浄 専門相談員
20	平成 25 年 3 月 6 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター技術セミナー「産業機械の EMC 規格と試験について」	池上利寛 専門相談員
21	平成 25 年 3 月 7 日	(公財)東京都中小企業振興公社 多摩支所	(公財)東京都中小企業振興公社「海外展開助成事業説明会」	山田一徳
22	平成 25 年 3 月 11 日	中小企業会館	(公財)東京都中小企業振興公社「海外展開助成事業説明会」	西野義典
23	平成 25 年 3 月 12 日	(公財)東京都中小企業振興公社 城南支所	(公財)東京都中小企業振興公社「海外展開助成事業説明会」	西野義典
24	平成 25 年 3 月 12 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター技術セミナー「改正 RoHS 指令が要求する CE マーキングと化学物質管理の進め方」	松浦徹也 専門相談員
25	平成 25 年 3 月 15 日	(公財)東京都中小企業振興公社 城東支所	(公財)東京都中小企業振興公社「海外展開助成事業説明会」	山田一徳
26	平成 25 年 3 月 15 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター技術セミナー「機械指令 (機械安全) の概説と安全要求事項の解説」	吉川保 専門相談員



No.	開催年月日	実施場所	実施先の名称	担当職員
27	平成 25 年 3 月 18 日	神奈川県中小企業 センター	「海外展開支援フォーラム」	西野義典
28	平成 25 年 3 月 21 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター 技術セミナー「CE マーキングの実務、 実施手順、及び業務プランの作成方法」	藤ノ木修二 専門相談員
29	平成 25 年 3 月 25 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター 技術セミナー「照明光源（蛍光灯、 LED 光源）の輸出戦略と関連国際規 格・外国国家規格」	河本康太郎 専門相談員
30	平成 25 年 3 月 26 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター 技術セミナー「アジア諸国における金 型製品輸入事情とその品質」	日原政彦 専門相談員
31	平成 25 年 3 月 28 日	都産技研 本部	広域首都圏輸出製品技術支援センター 技術セミナー「米国航空機産業で使用 される Drawing（図面）の概要について」	講師 平元日出雄

#### 4.2.3 相談実績

相談実績は、次の通りとなった。相談件数合計 322 件となり、メール相談が最も多く 167 件であった。また、相談企業の所在地別では東京都が最も多く 198 件、規模別では中小企業が最も多く 259 件であった。

##### (1) 相談方法別（件）

相談方法	件数	相談方法	件数
電話	30	メール	167
来所	120	TV 会議	5
		合計	322

##### (2) 相談企業所在地別（件）

	東京都	埼玉県	長野県	神奈川県	千葉県	その他
件数	198	45	29	17	10	23

##### (3) 相談企業規模別（件）

中小企業	259
大企業	47
その他	16

### 4.3 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体等から依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定等の技術審査のため、書類審査の実施審査委員の派遣を行った。

平成24年度は26団体からの依頼により52事業の審査に携わり、延べ3,642件の技術審査を行った。

	実施主体	審査件名	延べ件数
東京都	産業労働局商工部	経営革新計画等承認審査会	300
	産業労働局商工部	東京都ベンチャー技術大賞	536
	産業労働局商工部	新事業分野開拓者認定（トライアル発注）	189
	産業労働局商工部	文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	75
	その他		130
	小計（比率%）		1,230(34)
（公財） 東京都中 小企業振 興公社	助成課	（公財）東京都中小企業振興公社助成事業	538
	助成課	中小企業応援ファンド（地域資源活用助成）	110
	助成課	ものづくり産業基盤強化グループ支援事業	16
	その他		68
	小計（比率%）		732(20)
区市	大田区	新製品・新技術支援事業	129
	（公財）大田区産業振興協会	大田区中小企業新製品新技術コンクール	208
	北区	新製品・新技術支援事業	24
	品川区	環境ビジネス支援事業	18
		新製品・新技術開発促進事業	69
	港区	新製品・新技術開発支援事業	33
	府中市	新製品・新事業支援	4
	その他		231
	小計（比率%）		716(19)
団体等	東京商工会議所	第9回勇気ある経営大賞	47
	（公財）日本発明振興協会	発明大賞表彰	247
	（一財）機械振興協会	新機械振興賞	111
	東京都中小企業団体中央会	受注型中小製造業競争力強化支援事業	161
	（公大）首都大学東京	板橋製品技術大賞	135
	その他		55
	小計（比率%）		756(21)
その他	多摩信用金庫	多摩ブルー・グリーン賞	208
	その他		0
	小計（比率%）		208(6)
	合計（比率%）		3,642(100)